



会長 小林 幹夫 青少年奉仕 橋本八右衛門
副会長 道尻 誠助 幹事 正部家光彦
クラブ奉仕 道尻 誠助 会計 佐々木泰宏
会長エレクト 紺野 広 会場監督 峯 正一
職業奉仕 妻神 和憲 直前会長 小井田和哉
社会奉仕 地代所久恭 副幹事 松本 剛典
国際奉仕 中村 稔彦 会計補佐 山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也
同委員 廣田 茂 同委員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022~23 — 八戸ロータリークラブのテーマ
イマジン ロータリー ロータリーの力を信じよう!

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小林 幹夫

3月は水と衛生月間です

第3261回例会 2023.2.22

会長要件 道尻 誠助 副会長



(小林幹夫会長欠席のため代読)

みなさん、こんにちは。誠にすみませんが、先々週に続き、今週も出張のため欠席です。

本日は、会長要件が4つあります。

1つ目は、移動例会の件です。先日の出欠伺いに3月15日及び22日の例会場所の変更をお知らせいたしました。少々、びっくりされたかもしれませんが、先週の理事会で承認されたばかりのものであり、また3月の出欠確認のため月曜日の案内となりました。移動例会の意図は、時には気分を変えて、お昼の例会時に他のホテルで食事をしてみようということです。卓話や3分間スピーチをお願いしている会員の皆様もご協力ください。

例会活性化の一環ですので、皆様、是非、出席をお願いします。

2つ目は、米山奨学生の受入れに関してです。米山記念奨学金は、勉学や研究のため日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源

に奨学金を支給し支援している制度であることは皆さんご存じと思います。

昨年の10月19日の例会に米山奨学生をお呼びしましたが、この度、八戸学院大学の看護専攻科の中国国籍の学生が米山奨学生となり、八戸ロータリークラブがホストクラブとなるのが先週の理事会で承認されました。また、カウンセラーとして村上壽治先生にお願いすることになりました。具体的な運営の話は後程といたしまして、まずは皆様にご報告します。

3つ目は、次年度の築館ガバナー年度とも関連しますが、ゆるキャラバッジについてです。

皆さんご承知の通り、インターアクトからの応募により、当地区では「ロータくん」という公式キャラクターが今後活躍する予定です。このキャラクターを模したバッジが完成しました。その記念として会員の皆様にロータリーの最大テーマでもあるポリオ撲滅のための寄付をお願いする次第です。ぜひ、お手元にある封筒にポリオ撲滅のために最低1,000円を入れてください。その熱い思いに対しまして、特製ゆるキャラバッジを1つ進

呈させていただきます。

4つ目は、日本から8,500km離れているトルコの地震に関してです。

今月6日に発生した大地震は、死者が4万人以上と東日本大震災を大きく超える被害となっています。当然のことながら、我々は可能な限りの支援を行わなければなりません。国際ロータリーでも支援準備はしていると思いますが、八戸RCとしても早めに皆様にお願ひする次第です。この支援金についてもテーブルに封筒を回しますので、こちらに皆様のお気持ちをを入れて頂ければと思います。

欠席の時に限って、皆様にお伝えしたいことが多く、原稿を読んで頂いている道尻副会長にもご苦勞をおかけしております。

幹事報告 正部家光彦 幹事



道尻副会長からもお話がありました。テーブルに2つ封筒があると思います。1つはトルコ・シリアの地震に対する寄付、もう1つはポリオプラス寄付ですので、ご協力をお願いします。なお、バッチは来週、皆さんにお渡しいたします。

委員会報告

親睦・会場委員会 岡崎孝文委員長



○ニコニコボックスの報告
・奥様誕生日 接待一雄さん
・結婚記念日 岡崎孝文さん
小井田和哉さん 本日、卓話をさせていただきます。よろしくお願ひします。

広瀬知明さん 小井田さんの卓話、勉強させていただきます！

橋本八右衛門さん 25日のDTTS、クラブ一丸となってがんばりましょう。

DTTSご案内

鶴飼寿栄実行委員長



2月25日(土)に地区研修(DTTS)が開催されます。すでに皆様にはご案内があったかと思いますが。主催クラブとして準備を重ねて参りましたが、まだどうしても手が行き届かない点が多々見えてきております。八戸クラブの顔が見えるDTTSにしたいと思っておりますので、時間の許す方はぜひ土曜日11時にこの会場にお集りいただき、お手伝いをしていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

石橋信雄次年度地区幹事長予定者



今、鶴飼実行委員長からお話がありましたが、25日にDTTSがこちらで行われます。前もって皆様には「お手伝いのお願い」ということでご案内をさせていただいております。地区に委員として出向される方も含めて、現在30名の方がお手伝いいただけるということになっています。

11:00 グランドホテル グランドホールに一度お集まりいただき、当日の役割などをお伝えし、それからお弁当を召し上がっていただくから作業にかかるということになります。大きくわけて会場班と受付班になります。会場班のリーダーは奈良全洋さんと小田山紀暢さん、サブリーダーは小井田和哉さんです。受付班のリーダーは道尻誠助さん、サブリーダーは妻神和憲さんです。わたしもいろいろサポートしたいのですが、当日はバタバタするかと思いますので、リーダー、サブリーダーの皆さんのご指示に従って進んでいただければと思ひます。暫時、仕事を見ながら、もしスムーズに終わるようであれば、早めに終了という形になる方もいらっしゃるかと思います。その辺はリーダー、サブリーダーの指示に従ってください。

道尻誠助さんに先ほどの会長要件の中でバッチのことをお話していただき、各テーブルに封筒があるかと思います。「ゆるキャラ

「バッチ・ロータくんバッチ」は地区行事の際に皆さんに付けていただき、地区の皆さんをお迎えしたいと思います。まずは25日にお手

伝いの方はこのバッチをつけていただきたいと思います。



「燃料油価格激変緩和対策事業について」

小井田 和 哉 さん



この事業が始まって約1年経っています。簡単にいいますとガソリンの補助金の話です。この補助金が出ているというのは皆さんニュースや新聞で見ていると思いますが、補助金が出ているわりには全然ガソリンが安くないんじゃないかと感じていらっしゃる方がほとんどかと思っています。でも実際は補助金はだいぶ出ているので、それで価格が抑えられていますので、そこら辺を分かりやすく、こういう形で補助金が出ているということをお話しし、ご理解いただきたいと思います。

その話の前に、わたしも入会してちょっと経ち、入会順では名簿の真ん中辺りに来ています。わたしの後に入会された方もいらっしゃると思いますので、簡単に自己紹介、プロフィール・経歴をご紹介します。

1968年北海道旭川生まれ。父が当時、山一証券に勤めていて、転勤で旭川に居た時に生まれました。約1年くらいしかいませんでしたので、まったく記憶がありません。その後、また転勤で東京の恵比寿に1年住んでいたようですが、記憶がありません。ひじょうに古く、汚い社宅だったということで、その後、横浜青葉台の社宅に変えてもらったのかというくらい、恵比寿は1年だけいました。横浜で幼稚園に1年だけ行くまで住んでいて、幼稚園の年長になる頃に八戸に戻ってきました。それから高校3年で約13年八戸にいました。運よく大学も浪人せず入ることができ、弘前に行きました。弘前大学理学部情報科学科、今は理工学部という名前に変わっているようです。

弘前に4年いて就職で、田舎からいきなり横浜に出て、会社の寮に入りました。松下電

器産業、今はパナソニックという名前になっていますが、ここに入社して最初は郵政省の担当営業で、毎日のように霞が関、大手町の東京郵政局、地方の郵政局を回るという営業を6～7年くらいやりました。その後、テレビ局担当で横浜の事業部営業という形で6～7年。最後は静岡のテレビ局を担当しました。ちょうど地上波がデジタルに変わる頃で、データ放送が新しく始まる。そのデータ放送の機械を売り込む営業を担当していました。最終的に納入前に八戸に戻ってきました。

36歳くらいで八戸に戻ってきて、八戸燃料に入りました。今現在は妻とわたしと“ビックチワワ”。チワワは普通は大きくて2kgちょっとくらいで、小さいと2kgないのですが、うちのチワワはなぜか5kg以上あり、約倍くらい大きいチワワがいます。こどもは3人で、長女が結婚して孫が生まれ、東京豊島区にいます。長男は一回は八戸燃料に入りましたが、研修制度を利用してコスモ石油販売に研修で行かせていて、今度の4月に戻って来る予定です。次女は今仙台にいて、4月から大学院に進む予定です。

燃料油価格激変緩和対策事業についてご説明します。ガソリンなどの補助金の話です。資源エネルギー庁の特設サイトに書いてあるものをちょっと読ませていただきます。

『コロナ禍における原油価格、物価高騰等総合緊急対策に基づき実施する施策である。原油価格高騰がコロナ禍からの経済回復の重荷になる事態を防ぐため、および国際情勢の緊迫化における国民生活や経済活動への影響を最小化するための激変緩和措置として燃料油の卸価格の抑制のために手当を行うことで、小売価格の急騰を抑制することにより、消費

者の負担を軽減することを目的とします。』これを分かりやすく簡単にご説明したいと思います。

まずこの補助事業が始まった経緯ですが、ご存じの通り2019年の終わり頃からコロナウイルス感染症が世界的に流行ってきました。全世界的にロックダウンが起きて、工場が止まって海外にも行けない、入ってくるのも抑えるような感じで、一時的にエネルギーが必要なくなってきた。工場が動いていないから要らないということで需要がちょっと減りました。これによって原油を含め、エネルギーの値段が少し下がってきた。極端な話として、2022年4月20日にWTI、ニューヨークで取引されている先物の原油が、今まで史上初のマイナスという現象が起きました。-37.63ドル。これを買うといったらどうなるのか、わたしもよくわからないのですが、今まで過去になかったことです。

そういった中で、このコロナ絡みですが、今度はオーストラリアがこのコロナを流行らせたのは中国だろうと、中国に文句を言い出した。それで中国はそれに反発してオーストラリアから石炭を買うのを止めると禁止にしたり、他の物にも関税をかけたりにして、いろいろと国同士でいざこざが起きてきた。経済が回復する途中だったので、中国では石炭を輸入しないと止めてしまったので、エネルギーが足りなくなった。他の石油や天然ガスもどんどん逆に必要になって値段が上がってきた。中国では石炭を輸入禁止にしたので、大規模停電が起きたりしたのがこの頃です。いろんなエネルギーの値段が上がってきて、2020年初めにWTIが40ドル弱くらいだったのが倍以上の80ドルくらいまで上がってしまったということが起きました。

こうして急激にエネルギー価格が上がったということで、日本も大きな影響を受けるということで、この資源エネルギー庁が2021年12月中旬に、先ほどいいました燃料油価格激変緩和対策事業をやります。これはレギュラーガソリンの価格が170円くらいに抑えられるように、それを超えたら元売りに補助金

を出して、業者に入ってくる卸価格を抑えますということです。この時の補助金の上限が5円ということで始まりました。実際は12月に発表しましたが、補助金開始は翌年1月27日から始まりました。

この補助事業の概要についてお話しします。まず先ほど言いましたように、ガソリン価格が170円を越えたらこれが発動します。最大5円です。直接ガソリンを買う消費者に対してではなく、ENEOS、コスモ石油、出光、商社系などの大手元売りがトータル30数社ありますが、ここに対して国から補助金を支給します。それで卸価格を抑えなさいというのがこの施策です。ガソリン価格が170円を超えたらといいます、ガソリン価格がそういう対象になったら、軽油も灯油も重油も同じように補助金が出るということになっています。

こういう形でこの制度を進めていき、4週ごとに170円だったものを171円というようにトリガー価格、これを超えたらというものを1円ずつ上げていくということで始まりましたが、これはすぐにできなくなってしまいます。

レギュラーガソリンの価格が170円というのは、資源エネルギー庁が毎週月曜日に聞き取り調査をして、水曜日に発表しています。これの全国平均のレギュラーガソリンの価格が対象となっています。原油価格は、WTIの話をしてきましたが、WTIではなく中東の日本で一番多く輸入しているドバイ原油というものを参考にして、月曜から金曜の平均を取って、その原油価格の上限によって補助金を出す、出さないということを資源エネルギー庁が決めています。170円という価格ですが、ここら辺ではそんな価格には最近ずっとなっていません。昔から170円が出ていた頃から八戸では160円前後。今もセルフでは155円くらいと八戸はちょっと安めになっています。

この価格はこういうことで補助金が出るということになっていましたが、実際にどうなったかといいますと、もうすぐ1月末から補助金を出すことが決まりましたが、翌月2022年2月24日にロシアがウクライナに侵攻

したということで、原油価格が急上昇してしまいました。このロシアの侵攻の2週間後にはニューヨークのWTIが120ドルを超えてしまったということで、先ほど1円ずつトリガー価格を上げていってということも、上限5円ということもまったく意味をなさなくなって、急遽ここで上限5円から25円に増やしました。ですが、25円に増やしたのもその増やした翌週にはその上限にすぐ到達してしまっただけです。結局最終的には2022年4月26日にはさらに上限を増やして、25円から今度は35円まで増やし、さらにそれを超えたら+ a として半分を補助しますということに、最終的にはなりました。

今いったことをまとめると、1月末からはトリガー価格を超えたら補助金が出ますという価格が170円。その後、だんだんと1か月ごとに1円ずつトリガーを上げていき、上限5円といていたものが、3月10日には172円、上限25円にします。4月28日からはトリガー価格168円、上限35円+ a に変わった。最初に比べて7倍くらいの補助金になった。そのくらい急激にガソリンが上がってきていたということがわかります。

ここまでウクライナへのロシア侵攻によって急激にガソリンが上がったということがありました。それ以外にも上がる要因があります。アメリカが0金利を止めて、利上げに動いたことで4連続で0.75%あげたが、その間、日本は何も動かないということで、為替がだいぶ動きました。6月から11月でアメリカの4連続利上げがあり、最初1ドル110円代くらいだったものが10月には1ドル150円まで上がってしまった。この間に緩やかに原油は少しずつ下がってきていたのですが、何せ輸入する原油はドル建てで買っていますので、為替の影響をもろに受けて、高止まり。原油の仕入れがほとんど動かない状態で、11月中旬まではずっと国からの補助金は1リッター当たり30円以上出ているというのが続いていました。

補助金があればガソリンはこのくらい上がっていましたと、資源エネルギー庁が言っ

ていますが、言っているだけなので、実際にこうなったかどうかはわかりませんが、実際の毎週調べているレギュラーガソリンの全国平均価格。このくらい効果があったと資源エネルギー庁が言いたいと思います。

実際に効果はどのくらいだったかというと、一番効果が出ていただろうレギュラーガソリンが2022年6月23日の全国平均が173.9円のところ、補助金があれば215.8円になっていたはずだ。41.9円の効果があった。同じように軽油、灯油も42円、42.9円の値段を下げる効果が実際にあったと資源エネルギー庁が言っています。本当に215円の看板がそこら辺に出たかはちょっとわかりませんが、それなりに効果はあったのかというふうに思います。

補助金が始まって、その間で最も高かったレギュラーガソリンの価格は2022年6月30日の175.2円です。最も安かったのは2022年11月24日167.6円。この差7.6円。先ほどいった215円まで上がるのを抑えて、このくらいの7.6円くらいの幅に抑えられたのが、補助金の出た効果だということで、資源エネルギー庁のデータから読み取ることができます。

この「激変を緩和させる」から大きく動くのを抑えるというのがこの補助金でしたが、ガソリン215円、灯油が150円になるのを避けることができたということで、または物流コストもトラックの軽油などもやはり大きく上がらないように抑えたということも物価上昇という面では大きく影響があった部分だと思います。

では、この補助金はこのあとどうなるのでしょうか。2022年の1年間で約3兆円の補助金を使っているそうです。このままずっと続けていくのも現実的ではないということで、2023年1月から今35円+ a になっている上限を少しずつ上限を下げていきます。2023年1月で35円が33円になっています。今月2月に入って、これが31円。3月は29円ということで2円ずつ上限を下げていくと発表されています。現時点では9月末をもって、この制度を終わりますということが発表されています

が、9月頃になってまた原油が爆上がりして大変だとなると、またちょっと変わる可能性はありますが、現状としては9月までということになっています。

今現在、補助金はまだ出ていますが、全然上限まで行っていません。1月末くらいで17～18円、2月に入って18円ちょっと、15円代まで下がったり。直近では17.3円くらいの補助金が出ている感じになります。全国平均で167.4円。それが17円くらいの補助金が出ての価格ですので、原油価格からいくと実際は185円くらいが今の本当の値段と言えるのかもしれない。それがここまで抑えられているということ、今すぐ何らかの影響が出るわけではないのですが、この制度が終わると発表されている今年の9月までの原油価格はどう動いていくか。為替もどう動くか。そこら辺で今後大きく動く可能性があるのかと感じます。

質疑応答

Q 1 広瀬知明：八戸の価格は全国平均よりちょっと安いという話がありましたが、これは前から八戸はちょっと安く、沖縄は逆に高いなど地域的なものがあると思います。なんで八戸は安いのかを教えてください。

A 1：全国に製油所、油槽所があって、八戸のすぐ近くに油槽所が、ガソリンや灯油などいろんな石油製品をストックしてある場所があります。そこから近いほど基本料金は安い。輸送コストが抑えられるということもありますし、あとは価格競争です。あっちが看板を1円下げたからうちも下げるとというのが八戸

では未だにそういう業者が多く、せっかく仕入れが上がったので上げたのですが、週末にあそこが下げてたというのがよくあります。翌週月曜日に見たら戻っているのが。そういうのがあって、八戸はちょっと安値になっています。

全国的に見ますと沖縄はちょっと高め、九州の長崎は坂が多いところも高めだったり、そういう地理的なものも少しあると聞いています。

Q 2 松本剛典：今価格もそうですが、電気自動車がどんどん普及していますし、ハイブリッド、PHAVなどどんどん燃費のいい車が増えてきて、その使用量は目に見えるように変わってきているのでしょうか？

A 2：皆さんも燃費のいい車に乗って、中には電気自動車の方もいらっしゃるんですが、一般的にやはり4%くらい年々日本全国の需要、使用量が減っているといわれています。逆にスタンドも淘汰されていくということもあります。八戸はなかなかそうでもないのですが、地域によっては小さいお店が後継者ないなどで廃業して止めていたりして、一か所当たりの売上げが伸びるという地域もある。それも含めて3～4%が毎年普通に減っているといわれています。

今後電気自動車が増えてくると、さらに減ると思います。この北国で電気自動車が大丈夫なのかと思っている方もいらっしゃると思うので、そこら辺はまだ何が普及するのは、ちょっとわたしもわかりません。

出 席 報 告						出席委員会		
第3261回例会（2月22日）			第3259回例会（2月8日）					
出席率		55.00%	出席率		63.3%	修正出席率	70.0%	
総会員数		61名	出席数		33名	メイクアップした人数		4名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員	出席免除会員	欠席数			
60名	1名	27名	60名	1名	18名			